

平成29年2月16日  
於  
府中市立教育センター

平成29年第2回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

平成29年第2回府中市教育委員会定例会議事録

- 1 開 会 平成29年2月16日(木)  
午後1時30分  
閉 会 平成29年2月16日(木)  
午後2時24分
- 2 議事録署名員  
教育長 浅 沼 昭 夫  
委 員 那 須 雅 美
- 3 出席者  
教育長 浅 沼 昭 夫 委 員 崎 山 弘  
委 員 齋 藤 裕 吉 委 員 那 須 雅 美  
委 員 松 田 努
- 4 欠席者  
なし
- 5 出席説明員  
教育部長 今 永 昇 文化スポーツ部長 五味田 公 子  
教育部次長兼学務保健課長 堀 江 幸 雄 文化スポーツ部次長兼生涯学習スポーツ課長 沼 尻 章  
教育部副参事兼指導室長 伊 藤 聡 文化振興課長補佐 平 野 妙 子  
総務課長 志 摩 雄 作 ふるさと文化財課長補佐 渡 辺 純 子  
学校施設担当主幹 山 田 英 紀 生涯学習スポーツ課長補佐 宮 崎 誠  
総務課長補佐 遠 藤 公巳明 美術館副館長 須 恵 正 之  
給食担当主幹 鈴 木 哲 夫  
学務保健課長補佐 大 井 孝 夫  
指導室長補佐 古 塩 智 之  
統括指導主事 日 野 正 宏  
統括指導主事 国 富 尊  
指導主事 坂 元 竜 二  
指導主事 棗 まゆみ  
指導主事 吉 田 周 平
- 6 教育委員会事務局出席者  
総務課係長 鈴 木 紘 美  
総務課事務職員 國 分 真 耶

## 議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第10号議案

府中市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

第11号議案

平成29年度学校医等の変更及び決定について

第12号議案

平成29年度府中市美術館企画展観覧料について

第13号議案

府中市教育委員会の保有する公文書に対する開示請求について

第4 報告・連絡

(1) 寄附の採納及び感謝状の贈呈について

(2) 府中少年少女合唱団第34回定期演奏会について

(3) 郷土の森博物館旧越智家住宅「かやぶき屋根ふき替え工事見学会」について

(4) 郷土の森博物館特別投影「星空とともに」について

(5) 平和都市宣言30周年記念「平和の灯のともるコンサート」及び「平和展」の開催について

(6) 企画展「歌川国芳 21世紀の絵画力」の開催について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後1時30分開会

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまより、平成29年第2回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の議事録署名員は、私のほか那須委員にお願いいたします。

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第2、会期決定でございますが、会期は本日1日といたします。

◇

◎傍聴許可

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 本日の第13号議案については、人事案件であるため非公開扱いとし、議事進行の都合上、議事日程の最後に審議することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、教育委員報告の後、定例会を中断し、非公開会議で定例会を再開して人事案件を審議したいと思います。

傍聴の方に申しあげます。本日の第11号議案につきましては、個人情報に記載されているため、議案のかがみのみでお配りしております。また、第13号議案につきましては、人事案件のため資料の配付を省略させていただいておりますので、ご承知おきください。

◇

◎第10号議案 府中市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第3、第10号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○総務課長補佐（遠藤公巳明君） それでは、ただいま議題となりました第10号議案「府中市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則」につきましてご説明いたします。

まず、本規則の一部改正の趣旨でございますが、組織の改正に伴い、課の編成及び事務分掌を見直すものでございます。

次に、改正の内容につきまして、第10号議案中参考資料「府中市教育委員会事務局組織規則新旧対照」をご覧ください。

第1条中、部、課等の設置につきまして、「総務課」を「教育総務課」に変更いたします。また、総務課に設置されていた「学校施設係」を「学校施設課」として新設いたします。

また、第2条中、事務分掌につきまして、課の名称等を第1条と同様に変更し、学校施設課管理系の事務分掌を「学校教育財産の維持管理に関すること」とし、整備系の事務分掌を「学校環境の整備に関すること」といたします。

最後に、施行日は平成29年4月1日でございます。

なお、教育総務課と学校施設課の設置に係るこの規則の改正は、3月の人事異動等の対応のため、今回、2月の教育委員会定例会にお諮りするものでございますが、この2課の設置のほか、市長部局の組織改正に伴い、教育委員会が所管する諸規定を改正する必要があります。現在、3月の教育委員会定例会での提案に向けて、市長部局と確認を取りながら準備を進めております。

説明は以上でございます。よろしくご審議くださいますよう、お願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員（那須雅美君） 質問ではないのですが、議案書の1枚おめくりいただいて1枚目、新旧対照表ではないところです。1枚目の中ほど「第1条中〇〇を〇〇に改める」の「学校施設係」になっているのは、これは「学校施設課」のことですか。

○総務課長（志摩雄作君） 申し訳ございません。そのとおりでございます。この件につきましては、修正する必要があります。ですので、議案書を施設課とさせていただきます。採決をしていただく必要がございます。

○教育長（浅沼昭夫君） では「係」を「課」に直して審議ということですね。

ほかにいかがでしょうか。

○委員（斎藤裕吉君） 係を課にするという趣旨ですが、簡潔にご説明いただければありがたいです。

○総務課長（志摩雄作君） 学校施設係を学校施設課に格上げすることの趣旨でございますが、市全体の今後の方向性としまして、学校施設の老朽化対策の実施と、その他学校施設の諸課題を計画的かつ機動的に対応していくということで、係よりも課のレベルで組織的に対応したほうが良いという判断でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

よろしいですか。それでは、お諮りします。ただいまご指摘のありました「学校施設係」を「学校施設課」に変えて、第10号議案「府中市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、変更した原案どおり決定いたします。



◎第11号議案 平成29年度学校医等の変更及び決定について

○教育長（浅沼昭夫君） 続いて、第11号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○学務保健課長補佐（大井孝夫君） ただいま議題となりました第11号議案「平成29年度学校医等の変更及び決定」につきましてご説明いたします。

平成29年度、学校医等の委嘱につきましては、本年1月の教育委員会定例会におきましてご承認をいただいたところです。このたび、府中市医師会から担当医を変更する旨の連絡を受けたこと及び前回未定でありました眼科医の受け持ち校について決定したことから、次のとおり委嘱をお願いするものでございます。

2ページをお開き願います。本年1月の教育委員会定例会におきまして、府中第一小学校内科医を引き続き岩田康人先生の委嘱でご承認いただいておりますが、その後退任の申し出がございましたので、新任の張民浩先生に改めて委嘱をお願いするものでございます。

次に、眼科医につきましては、木下公子先生に引き続き委嘱させていただくことでご承認いただいておりますが、その後退任の申し出がございました。一方、小木曾みどり先生は、前回退任のお話でしたが、その後、継続いただけることとなったものでございます。

また、新たに森田哲也先生に委嘱をお願いするものでございます。

眼科医の受け持ち校につきましては、3ページに記載のとおりでございます。なお、委嘱期間は平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間を予定してございます。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますよう、お願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員（那須雅美君） 子どもたちのためにご協力いただき、本当にありがたいことだと思うのですが、医師会から担当医変更の理由は何かお聞きになったのか。個人的な理由でしたら特にはいいのですけれども、いかがでしょうか。

○学務保健課長補佐（大井孝夫君） 医師会さんから個別な理由というのは特に聞いてございません。個人のお申し出ということです。

○委員（那須雅美君） わかりました。なぜお尋ねしたかという、1月の定例会でも少し触れさせていただいたのですけれども、学校の対応が悪いために校医をやりたいということを、学校医をされていた方の関係者から聞いたことがございました。医師会に全部丸投げするのではなくて、何か学校側の対応がまずかったのでしょうかと、こちらから医師会に長く続けていただけるためのフォローみたいなものをしていただければと思います。

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、ただいまの件はご意見ということで承りたいと思います。

ほかにご意見いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、お諮りいたします。第11号議案「平成29年度学校医等の変更及び決定について」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎第12号議案 平成29年度府中市美術館企画展観覧料について

○教育長（浅沼昭夫君） 続いて第12号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○美術館副館長（須恵正之君） それでは、ただいま議題となりました第12号議案につきまして、ご説明いたします。お手元の議案書裏面をご覧ください。

1の平成29年度府中市美術館企画展の展覧会名、期間、観覧料につきましては、（1）から（6）それぞれ記載のとおりです。

展覧会の内容といたしましては、(1)の「浅野竹二の木版世界」は、日本画から出発し木版画家となった浅野竹二の日本全国の名所をやわらかく優しく明るく描き、人気を博した作品を中心に、寄贈いただいた収蔵木版画作品を紹介します。

(2)の夏休み企画展「ぱれたん動物園」は、絵の国の妖精ぱれたんとむら田の案内で、絵の国の動物を鑑賞したり、簡単な工作や作品制作を楽しんでいただく展覧会です。

(3)の「フィンランド・デザイン展」は、森と湖の国フィンランドの自然と人との調和を基本とした日々の生活で、長く愛されるデザインの数々をご覧ください。福岡市博物館、愛知県美術館、福井市美術館、宮城県美術館との共同企画により、世界中で愛されるフィンランド・デザインの魅力を紹介します。

(4)の「正宗得三郎展」は、府中ゆかりの作家、正宗得三郎の音楽のように色彩が響き合う作品の輝きと魅力を紹介します。

(5)の「絵画の現在展」は、2000年の開館以来、現代絵画を積極的に紹介してきた成果を検証し、未来につなげる企画展です。

(6)の「リアル 最大の奇抜展」は、円山応挙らさまざまな画家がさまざまに試みた目に映るものをどう描いていくかを探求した、リアルな江戸絵画を紹介いたします。

次に、2の団体料金等につきましては、(1)の企画展の団体観覧料につきましては1人1回につき、各展覧会個人観覧料の2割引とするものです。(2)のメンバーシップ会費につきましては、記載のとおりでございます。(3)のメンバーシップの団体会費につきましては、1人につきメンバーシップの2割引とするものです。(4)の賛助会員会費につきましては、美術館をサポートしていただける個人・団体・企業・大学を募るもので、記載のとおりです。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますよう、お願いいたします。

○教育長(浅沼昭夫君) 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員(崎山 弘君) いつもさまざまな企画をしていただきまして、ありがとうございます。この企画の中の3番の「フィンランド・デザイン展」なのですが、先ほど説明がございましたように福岡とか愛知を巡回するものですが、現在福岡市博物館で既に開催されております。その料金が、一般が1,400円なのですが、府中市では900円で設定されています。この料金の違いの設定というのは、どういうところから発生するものなのか教えていただけると。

○美術館副館長(須恵正之君) 府中市美術館の場合、入館料の基本としておりますのが所蔵品展を400円、国内企画展を700円、海外企画展を900円を基本としておりまして、それに基づきまして府中市美術館の場合900円という形で設定させていただきました。

○委員(崎山 弘君) わかりました。要するに権利の関係で、これは展示できないものがあるとか、そういうものではないということですね。全部同じものが回っているということですね。だとすると、福岡に来るよりもこっちのほうが安いということを宣伝してもいいのかなと、ちょっと思った次第です。ありがとうございました。

○教育長(浅沼昭夫君) ほかにご質問いかがでしょうか。

○委員(那須雅美君) 今の崎山委員のフィンランド・デザイン展にかかわりますけれど

も、最近ちまたでは北欧のデザインがとても人気で、雑貨やファブリック等、先日もBunkamuraミュージアムでもやっておりましたけれども、大変人気を博していると思うので、私も個人的にも楽しみです、多くの方に来ていただければいいと思います。

あと、この議案をいただいたときに私に認識がなかったもので、「賛助会員」なるものかどうなのかということで、府中市のホームページから美術館のところをのぞいたのです。ホームページの中に該当するのでしたら、恐らく「メンバーシップ」の項目のページにあるのかなと思ってのぞいてみたのですが、「賛助会員」という文字がどこにも記載されておりませんで、説明とか特典内容が特になかったのです。それは意図的に載せていないものなのでしょうか、どうでしょうか。

○美術館副館長（須恵正之君） 賛助会員につきましては、ホームページにつきましては申し訳ございません。理由があって載せていないというわけではございません。賛助会員につきましては、メンバーシップの一般の料金が2,500円のところ、5,000円をお支払いいただいて府中市美術館を応援いただくという形で、平成26年から開始させていただいている制度になりまして、メンバーシップと会員との違いにつきましては、年2回のレセプションの招待をさせていただいたり、あと1冊の図録の進呈をさせていただいたりというところが大きな違いになっております。

○委員（那須雅美君） それでしたら、広く応援していただく意味でもホームページ上に記載をいただいて、協力をいただければいいかなと思います。

あと、同じような市立美術館で高崎か町田でしたか、賛助いただいている企業さんの名前などをホームページに載せているところもありますし、それをするかは別ですけれども、もしそれで年間3万円で名前が載るのであれば協力していただける企業さんが多くなればいいかなと思います。

○美術館副館長（須恵正之君） 賛助会員につきましては、団体・企業賛助会員が年間3万円、そして大学賛助会員が5万円という形で設定させていただいております、各企業また大学にもこちらから出向きまして、ご紹介させていただいております。これからも広く募っていきたいと思っております。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

よろしいですか。それでは、お諮りします。第12号議案「平成29年度府中市美術館企画展観覧料について」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎寄附の採納及び感謝状の贈呈について

○教育長（浅沼昭夫君） それでは日程第4、報告・連絡ですが、報告連絡（1）を総務課、お願いします。

○総務課長補佐（遠藤公巳明君） それでは資料1の寄附の採納についてご報告いたします。

今回ご報告するのは1件で、学校教育活動の一層の充実・発展を図っていくために寄附されたものでございます。



寄附採納先は府中市立府中第一小学校でございます。寄附品はトランペット4台30万円、アルトホルン1台18万円、ユーフォニアム1台21万円、トロンボーン2台25万円。寄附者は府中第一小学校PTA、受領日は平成29年2月6日でございます。

なお、府中市教育委員会表彰規程第10条の規定によりまして、委員会が適当と認めたときは感謝状を贈呈できることとなっておりますので、贈呈することといたします。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） この件につきまして何かご質問、ご意見ございますか。

よろしいですか。

それでは報告・連絡（1）について了承といたします。



◎府中少年少女合唱団第34回定期演奏会について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（2）を文化振興課、お願いします。

○文化振興課長補佐（平野妙子君） それではお手元の資料1に基づき、「府中少年少女合唱団第34回定期演奏会」開催についてご説明いたします。

府中少年少女合唱団は、昭和57年に府中市教育委員会が青少年の健全育成を図ることを目的に設立いたしました。団員数は51名で、専門の講師の指導のもと毎週土曜日に生涯学習センターにおいて練習を重ねております。今年の定期演奏会は、開催日が3月30日木曜日、午後2時開場、2時半開演で、会場は府中の森芸術劇場ふるさとホールでございます。当日は、音楽劇「きんのがちょう」やミュージカル「ふしぎの国のアリス」のほか、多彩なプログラムを実施いたします。

委員の皆様におかれましては、ぜひ団員の日ごろの練習の成果をご高覧いただきたく、ご案内申し上げます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 何かご質問、ご意見ございますか。

よろしいですか。

それでは、報告・連絡（2）について了承といたします。



◎郷土の森博物館旧越智家住宅「かやぶき屋根ふき替え工事見学会」について

◎郷土の森博物館特別投影「星空とともに」について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（3）、（4）を一括しましてふるさと文化財課、お願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（渡辺純子君） それでは、ふるさと文化財課から2件、一括してご報告いたします。

まず、「郷土の森博物館旧越智家住宅『かやぶき屋根ふきかえ工事見学会』」につきまして、資料3に基づきご報告いたします。このたび、旧越智家住宅かやぶき屋根の腐朽・劣化により、ふきかえ工事を実施することとなりました。

旧越智家住宅は博物館の西隣、旧芝間、現在の南町にあったかやぶき農家の母屋です。明治22年ころに稲城市の坂浜から芝間に移築されたもので、その創建は江戸時代の後期にさかのぼると言われています。昭和62年に郷土の森博物館に移築、復元され、平成15年に

最初のふきかえを実施して以降2回目のふきかえとなります。

今では希少となったかやぶき屋根のふきかえの様子を間近で見る機会として、2月18日土曜日に見学会を開催いたします。見学の時間は午前11時、午後1時、午後2時の3回実施し、旧越智家住宅の解説及びふきかえ工程について写真パネルを用いて解説いたします。雨天の場合は19日日曜日に延期いたします。

続きまして、郷土の森博物館プラネタリウム特別番組「星空とともに」につきまして、資料4に基づきご報告いたします。

東日本大震災の夜、大停電の被災地を照らしたのは見たこともない満点の星空だったと言います。仙台市天文台では大震災の記憶を風化させないために、被災者から寄せられた星と震災にまつわるエピソードをもとにプラネタリウム番組を制作し、全国のプラネタリウム施設へ番組の提供をしています。

震災から間もなく6年が経過する中で、郷土の森博物館でも仙台市天文台のご協力により、その震災に対する思いを伝えるため、震災の日に合わせて特別講演をすることといたしました。日時は3月11日土曜日の午前11時からの1回上演で、観覧料は本投影内容の趣旨を鑑み無料といたします。そのほかは記載のとおりでございます。

報告は以上です。切にご来場いただきたく、ご案内申しあげます。

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまの（3）、（4）について、ご質問、ご意見ございますか。どちらからでも結構です。よろしいですか。

○委員（松田 努君） （3）のかやぶき屋根の工事なのですけれども、これはある程度の施工業者ならできるものなののでしょうか。あとこれはどうやってこの業者に決めているのかというのをちょっと教えていただければと思います。

○ふるさと文化財課長補佐（渡辺純子君） ただいまのかやぶき屋根の業者の件につきましてのご質問でございますが、現在、かやぶき屋根の施工ができる業者が、このたびは市内業者で対応ができるということで、市内の立花建設株式会社というところで落札をしまして、実施させていただいております。

特殊な工事ではございますけれども、そういった技術を持った職人をこの業者で手配ができるということが見込まれましたので、今回の実施にあたり落札されたものです。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

○委員（崎山 弘君） 私はプラネタリウムについてお伺いしたいのですけれども、これは1回だけの特別番組ということなのですけれども、土曜日の午前中なので午後にもう1回やるとかそういうことは想定されていなかったのか、あるいは権利の問題みたいなものがあるのでしょうか。1回だけにした理由というのが何かあるのでしょうか。ちなみに私も午前中なので行けないなど。

○ふるさと文化財課長補佐（渡辺純子君） このたびプラネタリウムの上映につきましては、仙台市の天文台との協力・提携という形で1回の上映ということで価値がついたところでございます。時間につきましてはほかのプログラムとの関係で午前となっております。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

それでは、報告・連絡（3）、（4）について了承いたします。

◇

◎平和都市宣言30周年記念「平和の灯のともるコンサート」及び  
「平和展」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（5）を生涯学習スポーツ課、お願いします。

○生涯学習スポーツ課長補佐（宮崎 誠君） それでは、生涯学習スポーツ課から「平和都市宣言30周年記念『平和の灯のともるコンサート』及び『平和展』の開催について」お手元の資料5に基づき報告いたします。

今年度、平和都市宣言30周年を記念して、さまざまな事業を実施してまいりました。その集大成として3月4日土曜日、午後1時30分より府中の森芸術劇場どりーむホールにて、「平和の灯のともるコンサート」を府中市芸術文化協会と協働で開催いたします。

本イベントではオーケストラや太鼓の演奏のほか、福岡県八女市にともされている「平和の火」を採火し、府中の「平和のともしび」として会場をともし、平和への誓いを新たにいたします。

また、3月7日火曜日から13日月曜日までの7日間、生涯学習センターにおきまして3月10日の東京都平和の日になみ「平和展」として東京空襲に関する資料展示を行います。詳細は資料のとおりでございます。委員の皆様にもご高覧いただきたく、ご案内申し上げます。

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまの件につきまして、ご質問、ご意見ございますか。

○委員（齋藤裕吉君） このちらしの真ん中辺にある「祈り・寺田路恵の朗読と語り」とあって、その後「『もっと生きていたかった』～子どもたちの伝言～ほか」とありますけれども、どんなところで取られた内容のものなのか。例えば、震災でとか、平和ですから空襲を受けてとか、何かそんな歴史的背景やら社会的背景、どういうものであるのかわかれば教えていただきたいと思うのですけれども。

○生涯学習スポーツ課長補佐（宮崎 誠君） こちらの石川逸子さんの詩集につきましては、石川さんの実際の戦争体験をもとにまとめられた詩集ということで、こちらを今回、平和都市宣言30周年ということで、芸術文化協会との協働でこの詩集を選定したところでございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

それでは、報告・連絡（5）について了承いたします。

◇

◎企画展「歌川国芳21世紀の絵画力」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして、報告・連絡（6）を美術館、お願いします。

○美術館副館長（須恵正之君） 美術館から、お手元の展覧会チラシに基づき、次回の展覧会についてご報告いたします。

3月11日土曜日から5月7日日曜日まで、企画展「歌川国芳21世紀の絵画力」を開催いたします。観覧料等は記載のとおりですが、市内小中学生は学びのパスポートで無料になります。チラシをお開きください。

「春の江戸絵画まつり」では、江戸後期の浮世絵師、歌川国芳を取り上げます。明治時代以降、国芳は人気があったものの、美術史の上では必ずしも高く評価されてきたわけではあ

りません。明治時代に外国人から評価された北斎や、西洋ロマン主義的風景画にも響き合う芸術と賛美された広重と違って、国芳の卓越した描写力を前向きに受け取ろうとする人は少なかったようにも思われます。

しかし、今、浮世絵ファンはもとより、日ごろは日本美術にあまり興味のない人に至るまで、本当に多くの人たちが国芳の作品に熱いまなごしを寄せています。本展は、迫力ある武者絵や味わい深い猫の絵、幅広いレパートリーに腕をふるった国芳の絵画力を現代に問う展覧会です。

前期・後期合わせておよそ240点の国芳作品をご覧いただきますが、代表作の多くを刷りの状態、保存状態ともに良質の作品によって味わっていただけます。今回は、全作品の展示替えを行います。前期は桜の咲く4月9日まで、1日で展示替えを行って、後期は4月11日から始まり5月の連休まで続きます。会期中、展覧会講座や20分スライドレクチャー、毎年恒例の子どもたちを対象としたワークシートを利用したイベント、くによし探検隊を開催いたします。

また、常設展示室では日本の油彩画の流れ、そして牛島憲之記念館では、牛島憲之名作選を開催いたします。ぜひともご覧いただきたく、ご案内申しあげます。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） 何かこの件につきまして、ご質問、ご意見ございますか。

○委員（松田 努君） 今回のこの歌川国芳についてではないのですが、このパンフレットを、市内の各企業や団体さんに送っていると思うのですが、どこまで送っているのかということと、いろいろな企業があると思うのですが、何を基準に送っているのか。何が言いたいかといいますと、多分これは僕の働いている職場の総務に送られてきたのですね。たまたま読んでいて、ああこれは府中市の事業だな、と思ったのですが、多分僕が言わなかったらそのまま。府中市に住んでいる方は興味があると思うのですが、そうではない方はそのまま葬り去られてしまうようなこともあるので、ちょっともったいないなと思いました。

○美術館副館長（須恵正之君） チラシ・ポスター等の配布につきましては、広報のご協力をいただける企業または店舗等に送らせていただいて、広く市民の皆様方へ広報していただけるようお送りしております、それは今まで16年間来た中のご協力いただける皆様に現在お送りしているという状態でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） いかがでしょうか。何かこうしたほうがいいというご意見がもしあれば、伺いながらなら参考にして進めていけばよろしいかなと思うのですが、今のところ、こちらから一方的にかがみ文をつけてお送りしているということですね。

なかなかその手ごたえ等はどうですか。今までの手ごたえというか、リーフレット・パンフレットをお配りして、その効果といいますかそれについてはどういうふうに把握しているか、ちょっと教えていただけますか。

○美術館副館長（須恵正之君） 効果につきましては、やはりアンケート等の中で、「職場でちらしを見て来た」ですとかそういう形で。新聞等を見て来ていただける方も多いのですが、やはり店舗等のポスターを見て来たという意見などもいただいておりますので、効果はあるものと考えております。

○教育長（浅沼昭夫君） いかがでしょうか。よろしいですか。

ほかにいかがですか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（6）について了承といたします。



◎その他

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第5、その他でございますが、何かございますか。



◎教育長報告

○教育長（浅沼昭夫君） では、日程第6、教育長報告に移ります。活動状況でございますが、別紙の「平成29年第2回教育委員会定例会教育委員会活動報告書」のとおりでございます。なお、この報告書は平成29年1月14日から平成29年2月10日までの活動内容となっております。

私からこれにつけ加えることはございません。以上です。



◎教育委員報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況については別紙のとおりでございます。

まず、崎山委員にお願いいたします。

○委員（崎山 弘君） では、崎山から2件報告をいたします。

2月17日、府中駅伝競走大会を見学した後で、府中市郷土の森にも伺いました。

まずは、博物館で開催されている特別展「あしもとネイチャーワールド多摩川・冬鳥の陣」を見学しました。私はもともと自然科学系が好きで、中学生のころには家の庭に餌台を置いて、冬に野鳥を呼び寄せて観察していましたが、自宅は武蔵台で多摩川から遠く、多摩川の鳥はあまり詳しくありませんでした。

今回の展示は、およそ50～60年間の環境の変化を、冬の多摩川を訪れる野鳥の種類の変遷を通して理解できるように工夫された企画で、単に野鳥の種類を知るだけでなく自然環境の変化を学ぶことができる興味深い企画でした。市内の子どもたちにもぜひ見ていただきたいと思いました。

引き続き、博物館の外に出て、梅まつりの様子を拝見してまいりました。蟬梅の香りも楽しめましたし、よく手入れされている園内の梅も早い木では満開に近く、多くの市民が晴天のもとで写真を撮ったり、散策したりしておられました。川崎平右衛門広場にある福岡の太宰府天満宮から寄贈された2本の梅も八分咲きで、まだまだしばらく梅まつりのにぎわいも続くだろうと感じました。

もう1件、前回の教育委員会定例会の報告6にありました、小金井市にある江戸東京たてもの園の特別展「川崎平右衛門—武蔵野新田開発の立役者」展を2月12日に見学してまいりました。府中市郷土の森博物館の資料とともに、江戸東京博物館、国分寺市教育委員会、小金井市教育委員会の資料も展示されて、川崎平右衛門が活躍した時代の背景について詳細にかつわかりやすく展示されていました。

江戸幕府財政の悪化を改善しようとした享保の改革、その中で武蔵野新田開発も行き詰ま

ろうとしていたときに登場した川崎平右衛門の行政手腕のすばらしさがよく理解できました。その能力を買われて、美濃の国の長良川支流の治水工事、生産性が落ちていた石見銀山の救済事業などを成し遂げるさまを、名古屋大学図書館や石見銀山資料館の資料とともに説明されていました。有能な行政官であるとともに、土木治水、冶金にも精通していた立派な人物であったと納得できる展示でした。

私からは以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして、齋藤委員、お願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） それでは、齋藤から報告いたします。この間の活動報告につきましては、別紙のとおりでございますけれども、その中で、府中第一中学校で行われた研究報告会に参加しての所感、感想を述べたいと思います。

この研究報告会は、府中第一中学校区で推進する小中連携一貫教育という研究主題のもと、府中第一小学校、第九小学校、第一中学校が、9年間で小中連携して子どもたちに確かな学力と豊かな心を育もうとする研究的な取組の報告会で行われました。

公開授業では、小学校の先生がT2として授業に加わり机間指導を行うなど、T1の中学校の先生と連携して指導に当たる姿なども見られました。

また、体育館での研究報告では講評でも触れられたような、小中連携の第2ステージに進んだと言えるようなカリキュラムや指導方法に踏み込んだ取組内容が示されて、着実に前進している様子が伺えました。

こうした小中連携の取組について私が考えたことは、義務教育9年間という連続性はありますけれども、小学校と中学校の間にある節目も大事にすべきではないかということです。以前に教育委員の管外視察で訪問した小中一貫校では、小学校の卒業式がなく、7年生、8年生、9年生と続くということでした。今、国の制度としては義務教育学校というものもあるわけですが、子どもの成長には節目が必要で、その節目を上手に越えることによって子どもたちは状況の変化に対応する力や生きる力の質的な発展を遂げていけるものと考えられます。したがって小中連携においては、その節目を効果的に越えて成長できるような、教育的な方策が必要であろうと思います。

また、もう1つは府中市の教育委員会の重点施策の1つである、コミュニティ・スクールとの関係です。講評の中で、今後の課題の1つとして小中連携とコミュニティ・スクールの関連を捉えた取組の必要性を指摘しておられましたけれども、私は全くそのとおりだと思います。子どもたちの学びと育ちを考えた場合に、子どもたちは小学校から中学校へと時間軸の中で学びを広げ、深めていくわけですが、空間軸としては学区域を中心とした地域の中で育ちを遂げていくわけです。したがって、子どもたちの学びと育ちを多面的に支えていくためには、その両面から考えていく必要があると思います。つまり、学校段階の連続性に視点を当てた小中連携活動と、地域とともにある学校としてのコミュニティ・スクールの推進でございます。これら2つの施策がばらばらのものではなくて、密接に関連したものであるはずで、取組内容が違って、子どもたちの学びと育ちの支援という点では共通の基盤を持っているわけです。そのように考え方を整理しながら、教育委員会としても学校としても、効果的な事業推進を行っていけばよいのではないかと考えた次第でございます。

私からは以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） 那須委員、お願いします。

○委員（那須雅美君） 私もこの期間には、小中連携の日や研究発表会で多くの学校に伺うことができました。さまざまな研究発表を拝見したわけですが、教育の専門家ではないので、研究の評価やアドバイスができません。でも、校長先生がリーダーシップを発揮されて、研究課題に沿って先生方が熱心に研究をして授業改善等に取り組んでいただいていること、また、子どもたちの成長のために熱い思いを持って指導していただいていることがよくわかりました。今後もさらに指導力向上を目指し、頑張っていただけるようお願いしたいと思います。

そのような先生の思いに絡めまして、本日は各学校の学校だよりについて感想を述べさせていただきます。市内33校の小中学校が発行する学校だよりが、毎号私の手元にも届けられます。そこに書かれている行事や校内の様子からは、それを企画し指導してくださる先生方の思い、教育活動に関する保護者アンケートの集計結果・分析からは、来年度の教育計画に生かそうという思い、また、管理職の先生方がご自身の経験や体験あるいは何気ない日常で感じられたことを通して子どもたちに伝えたいことが書かれてあったりもします。学校だより1通があれば、家族でいろいろな会話ができると思うほどたくさんの方が盛り込まれています。最近、特に学年が上がってくると、学校での配付物を保護者に渡さない児童・生徒が増えてくると聞きます。学級でのおたよりの配付などは、その係に当たっている児童・生徒が配ってそれで終わりとなってしまうことが多いかと思えます。もちろん家庭でも教育はしますが、担任の先生方には単に配付物は家の人に渡すということだけではなく、記事を書いている人の思いやそれを作成するのにどれだけ多くの人がかかわり、たくさんエネルギーを費やしているかなど、子どもたちの心に訴えかけていただきたいと思えます。

各学校の教育目標には「思いやりのある子どもを育てる」ということを挙げている学校も多いかと思えます。お家の人におたよりを渡すという当たり前に思えるような単純な行為の1つにも、見方を変えれば発行する側への思いやりが隠れているようにも思えます。そうすることにより、先生方の思いも詰まったおたよりが1人でも多くの保護者の皆様に読んでいただけるようになることを願います。

最後にもう1点ですが、いろいろな場面で教育委員会事務局の方々と意見交換をさせていただいておりますけれども、事務局の方々も府中市の教育や地域のことを考え、本当に熱い思いを持って仕事に打ち込んでいただいていると感じ、大変うれしく思っています。これからも府中市の教育課題解決、発展のために皆様存分に力を発揮していただきたいと思えます。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） 続いて、松田委員、お願いします。

○委員（松田 努君） 私は、1月31日に府中第七中学校の研究発表会に参加してきました。テーマは「コミュニケーション能力の向上を学力向上につなげる指導方法の工夫・改善」というものでした。コミュニケーションということは当然よく耳にする言葉で、もちろん一般社会でも大切ですが、スポーツの中でも非常に注目されています。私が続けて

きたラグビーの世界では、特にディフェンスというポジションでもものすごく重要視されていて、チームの戦略の1つとして「コミュニケーション3倍」をキーワードにして盛り込んでいるくらい非常に大事なものでした。コミュニケーションが苦手なために周りとのコミュニケーションができず、レギュラーになれない選手、力はあるけれどもそういう選手も実際にいたりするくらい注目されているので、私はコミュニケーションというものにとっても興味がありました。また、それが学力向上につながるというテーマで、本当に素晴らしいものだと思います。今回の研究では、成果と課題がいろいろと書いてありましたが、ぜひ次のステップに向けてさらなる工夫・改善をしていただければいいなと個人的には思いました。

次に、2月11日の府中駅伝大会でスタートの前の選手を見ていたのですが、勝負をしに来ているチームや楽しんで参加しているチームの笑顔など、いろいろな姿が見られていい雰囲気だと思いました。あのような場にいると、やはり私も体育会系の血が騒ぎまして、来年はコースも変わる予定だとお聞きしていましたので、教育委員の皆様や関係する皆さんとぜひ参加したいなと感じました。お心当たりのある方は、1年間ありますのでぜひ練習をお願いしたいと思います。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。

それでは、ここで定例会を一度中断し、非公開の審議に移ります。誠に恐れ入りますが、傍聴者及び説明員など、関係者以外はご退室をお願いします。

午後2時19分中断

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

午後2時20分再開

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

◎第13号議案 府中市教育委員会の保有する公文書に対する開示請求について  
(非公開会議により非公開)

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、これで平成29年第2回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。お疲れさまでした。

\_\_\_\_\_ ◇ \_\_\_\_\_

午後2時24分閉会



以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証  
するため、ここに署名する。

平成29年3月23日

府中市教育委員会教育長

浅沼 昭夫

府中市教育委員会委員

那須 雅美